

商品管理室の業務内容について

3 工場調査

商品の製造元へ赴き、工場の衛生状況や製造工程等の調査を行い、商品が決められたルールや表示どおりに正しく製造されているかどうかの確認をおこないます。年間約200件の工場を調査します。

4 表示点検

商品を新規開発・商品の仕様変更をするとき、また法令変更等による表示改定時には、商品ラベルの点検をおこなっています。

5 仕様管理

エコープマーク品等の商品台帳データベースを作成し、商品情報の一元化データ管理をしています。これにより情報の整理・共有化を図っています。

6 商品知識の普及活動

J A女性部等を対象とした視察・研修会を実施しています。普及活動を通じて、エコープマーク品の商品開発コンセプトをご理解いただく取り組みを行っています。平成30年度では年間約600名の参加者に商品を紹介しました。



2. まとめ

エコープマーク品は、2019年4月現在約1,100規格(食品約900規格、日用品・衣料品約200規格)の取扱いがあります。商品管理室では開発した商品を日々の業務の中で適切に管理し、組合員・利用者の皆様へ安全・安心な商品をお届けできるよう努めています。これからもエコープマーク品をご愛顧のほど宜しくお願いします。

1. 商品管理室の業務

商品管理室では、エコープマーク品等の安心と信頼を支える商品管理(品質基準設定・検査・工場調査・表示点検・仕様管理)業務をおこなっています。またJA女性部等を対象とした商品知識の普及活動にも取り組んでいます。

1 品質基準設定

商品管理室では商品を新規開発するときに品質基準案を作成し、取引先と協議したうえで、品質基準の設定をおこなっています。

2 検査

平成30年度では年間約700件(定期検査約600件、不定期検査約100件)の品質検査を実施しました。

ア. 定期検査

毎年検査計画を策定し商品管理室での検査または検査機関・取引先からのデータを取得し、検査をおこなっています。

イ. 不定期検査(商品の開発や見直し時)

官能検査(人間の視覚、味覚、嗅覚、触覚を用いて食品の品質を判定する検査)を行い、候補品と市販品の比較等の検査をおこなっています。

